



今年度第1回目の避難訓練を行いました

ゴールデンウィークが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。4月末から5月初めにかけての家庭訪問お世話になりました。短い時間でしたが、保護者の皆様と対話を通じた有意義な時間を持つことができました。ありがとうございました。

1年生が学校にも慣れてきた4月25日、本年度1回目の避難訓練を実施しました。地震の後、校務室から出火したという想定で実施しました。どの子も、緊急地震速報をよく聞き、無言で身を守る行動をとることができました。避難場所への移動時、話し声が聞こえてきたことが残念でした。子どもたちの命を守るために、教職員は地震の大きさや、火災の発生場所により避難経路を考えて安全な場所に誘導しなくてははいけません。ですから、訓練前後でどのような行動が大切か、教職員の研修も大切にしています。

ゴールデンウィーク中の5月5日、石川県で震度6強の地震が起こり、余震も続いています。地震や火災などの災害はいつ起こるか分かりません。災害が発生した時にいつも大人がそばにいるとは限りません。階段を降りたところに壁が崩れているかもしれません。運動場への出口がふさがれるかもしれません。割れたガラスが散乱していることもあるかもしれません。どのように動けばよいのか、どの避難ルートを使えばよいのか。繰り返し訓練をすることで、自分で判断できる力（自助）を身に付けていきます。



安全な登校と気持ちの良い挨拶

昨年度に続き、気持ちの良い挨拶と「はいっ」の返事が響く土居小学校を目指して、全校で取り組んでいます。「挨拶は自分から、相手を見て、笑顔で」を大切に頑張っています。毎朝、通学路では、班長さん、副班長さんが班のメンバーの安全に気を配りながら登校しています。加えて「おはようございます。」の音が響くようになってきました。

保護者の皆様の登校指導後のカードには、「びっくりするほど、とてもきれいに整列して登校しています。信号に来たら班長さんを先頭に、副班長さんが横断歩道に旗を広げて、下級生を安全に通してさっと列に戻っていました。朝から気持ち良くなりました。」「以前よりあいさつができる班が増えました。」「気持ちの良いあいさつができていて元気をもらえました。」など、たくさんのうれしい感想が書かれています。子どもたちの励みにもなっています。登校後も、廊下や教室から元気な挨拶が聞こえてきます。学校でも、地域でも挨拶が響く子どもたちを育てていきます。



今月、21日は運動会です。短い練習時間ですが、子どもたちは頑張って練習をしています。子どもたちの活躍を楽しみにしててください。